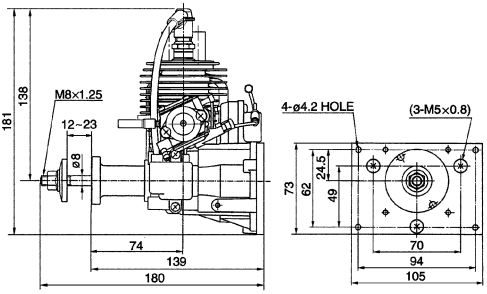
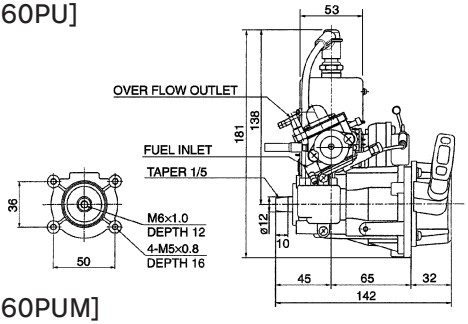
T2075-93122 (704)

取扱整備要領書

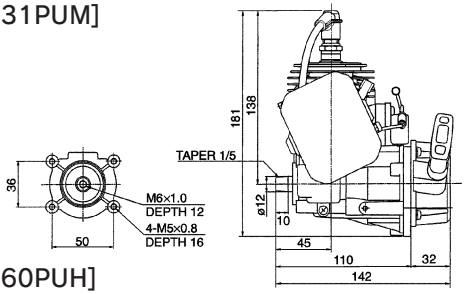
G260PU　（ラジオコントロール飛行機用）
G260PUM（ラジオコントロールボート用）
G260PUH（ラジオコントロールヘリコプタ用）
G231PUM（ラジオコントロールボート用）
G231PUH（ラジオコントロールヘリコプタ用）



[G260PU]



[G260PUM]
[G231PUM]



[G260PUH]
[G231PUH]

⚠ 警　告 ⚠

- この製品はラジオコントロール飛行機、ボート、ヘリコプタ用に設計されています。
- 改造、組み替えされて使用された場合当社は一切の責任を負いません。
- 製品をお使いになる前に必ずこの取扱整備要領書をお読みください。

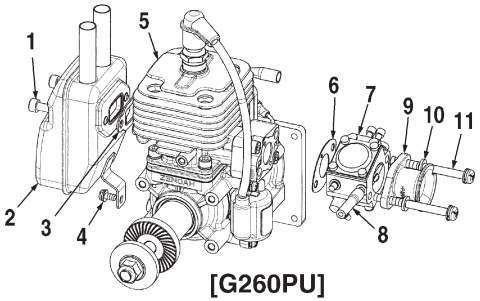
1．正しくお使いいただくために

1. この要領書はエンジン本体に関する事柄を主に取り上げています。エンジンの取り付けやコントロール関係については本体側の説明書記載の注意事項に従ってください。
2. G260及びG231は、PUタイプがラジオコントロール飛行機、PUHタイプがラジオコントロールヘリコプタ、PUMタイプがラジオコントロールボート用としてそれぞれ専用化しています。不測の事故を招く恐れがありますのでエンジンを改造したり他の用途に使用したりしないでください。弊社の書面による事前承諾なく改造されたり転用された場合は一切の責を負いかねますので予めご了承ください。
3. エンジン部品交換時は必ずゼノア純正部品を使用してください。
4. エンジンを始動する前に、プロペラ（ロータ、スクリュ）などの回転部分や燃料供給系統、エンジン取り付け部などを点検し、損傷や燃料漏れ、ゆるみ、亀裂などの異常が発見された場合は完全に整備してください。
5. プロペラ等が障害物に当った場合は直ちにエンジンを停止し、プロペラ等を点検してください。
6. エンジンは、障害物のない安全な場所で始動してください。
7. ロータ（フライホイール）は改造しないでください。運転中に異常振動が発生した場合はエンジンを停止し、各部の損傷やネジのゆるみの有無を点検してください。
8. エンジンの排気ガスには有害な一酸化炭素が含まれています。室内や換気の悪い場所では運転しないでください。
9. エンジンの運転中はスパークプラグの高圧コードに触れないでください。感電の危険があります。
10. エンジン運転中および停止直後は金属部に素手で触れないでください。高温のため火傷を負う危険があります。

2．組　立

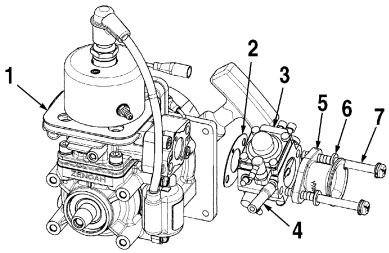
キャブレタ、マフラ、エアファンネル、エアクリーナ等の付属品を図１に従い確実にエンジン本体に取り付けてください。

図１



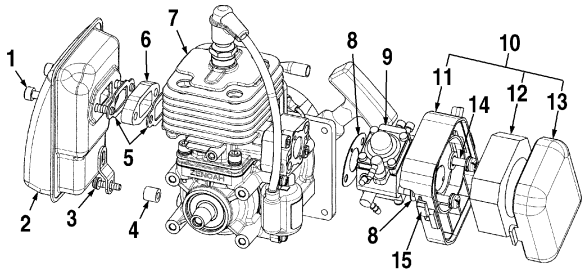
[G260PU]

1. ボルト（01252-30550）
2. マフラ（T2075-15110）
3. ガスケット（1140-13141）
4. スクリュ（0263-30408）
5. エンジン本体
6. ガスケット（T2075-13150）
7. キャブレタ（T2075-81000）
8. チューブ（1000-03030）
9. エアファンネル（848-ES0-8300）
10. スペーサ（1142-83110）
11. スクリュ（0263-30555）



[G260PUM/G231PUM]

1. エンジン本体
2. ガスケット（T2075-13150）
3. キャブレタ（T2076-81000）
4. チューブ（1000-03030）
5. エアファンネル（848-ES0-8300）
6. スペーサ（1142-83110）
7. スクリュ（0263-30555）



[G260PUH/G231PUH]

1. ボルト（01252-30560）
2. マフラ（T2710-15110）
3. ボルト（1565-72211）
4. スペーサ（1158-15420）
5. ガスケット（1140-13141）
6. スペーサ（1145-15412）
7. エンジン本体
8. ガスケット（T2075-13150）
9. キャブレタ（T2077-81000）
10. エアクリーナ（848-EP1-8300）
11. エアクリーナボディ
12. フィルタ
13. エアクリーナカバー
14. スクリュ（0263-30555）
15. ロックノブ

注　意

キャブレタ及びガスケットの取り付けに注意してください。
もしキャブレタを上下逆に取り付けた場合キャブレタが正常に働かないためエンジンが始動しません。

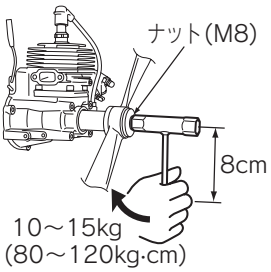
3．艤　装

3.1 G260PU

エンジンの取り付けには、厚さ6mm以上の航空ベニヤまたは同等の強度を有する適切な材料を使用し、取り付け時は4本のボルトで確実に固定してください。

【要点】

1. ボルトの取付板への沈みこみを防ぐため、平座金か金属板を取付板の裏側にあてがってください。
2. キャブレタと燃料タンク下面との取付高さは100mm（4 inches）以内にしてください。
3. 防振ゴムを介して取り付ける場合は、ゴムの強度に留意して適正な硬度のものを選定してください。選定を誤ると使用回転域で異常振動を起こすことがあります。特に、アイドリング時の振動が大きいとキャブレタの共振によりエンジン回転が不安定になりますので注意ください。
4. プロペラ締付ナット(M8) は、付属のプラグレンチを使い、トルク80～120kg·cmで締めてください。即ち右の絵のようにプラグレンチを手で10～15kgの力を加えて回してください。
   注）大きなレンチを使いトルクオーバーで締めるとスタッドが折損する恐れがあります。



3.2 G260PUM/G260PUH/G231PUM/G231PUH

エンジンの取付けは、ラジオコントロールボートまたは、ヘリコプタメーカーの説明書に従ってください。

説明書がない場合は、PTO側、リコイルスタータ側それぞれ最低でも4点で確実に固定してください。

【要点】

1. ボルトの取付板への沈みこみを防ぐため、平座金か金属板を取付板の裏側にあてがってください。
2. キャブレタと燃料タンク下面との取付高さは100mm（4 inches）以内にしてください。

4．プロペラ等の選定

4.1 G260PU（飛行機用）

・推奨プロペラサイズは次のとおりです。

外径xピッチ（インチ）
18 x 6 ～ 10，16 x 8 ～ 12

・プロペラは、飛行時にエンジン回転が7000～8500rpmになるようなものを使用してください。

4.2 G260PUM/G231PUM（ボート用）

・標準仕様エンジンには排気装置は装備されていません。
・排気装置選定時は、選定した排気装置を装着した状態での最大出力発生時のエンジン回転数を確認してください。
・次に、その排気装置が要求するエンジン回転速度にマッチするスクリュプロペラを選定してください。一般的には、スクリュプロペラ（サーフェイスタイプ）の標準サイズは次のとおりです。

外経（mm）
65 ～ 75

ピッチレシオ（mm）
1.9 ～ 1.4

4.3 G260PUH/G231PUH（ヘリコプタ用）

・ロータのピッチは、エンジン全開運転時の回転数が9000～10500rpmになるように調整してください。
・ヘリコプタメーカー推奨のローターを使用してください。

5．燃　料

・燃料は、自動車用レギュラーガソリンに混合用高級２サイクルオイルを25:1～40:1の割合でよく混ぜ合わせたものを使用してください。混合比はオイルによって異なりますのでオイルメーカーの取扱説明書に従ってください。

【注意】

1. アルコール燃料やアルコール添加燃料は使用しないでください。キャブレタ内部のゴム部品が損傷します。
2. このエンジンの燃料は引火しやすい混合ガソリンです。給油時はエンジン停止し、タバコなどの火気を遠ざけてください、また給油時にこぼれた燃料は布などでふき取ってください。
3. 燃料フィルタは、300メッシュ以上のものを使用してください。また、燃料供給配管には、耐ガソリン性に優れたものを使用してください。

6．始　動

6.1 G260PU

A．ハンドフリップ始動

G260PUには超小型のC.D.I.フライホイルマグネト点火方式が採用されていますので、エンジン始動時は以下要領に従ってください。

※ G260PUの点火方式では、排気ポートがピストンで閉じられた時、つまり圧縮行程開始時からではプロペラをどんなに早くフリップしてもスパークプラグに飛火しない設計になっています（図２-Ａ）。従い、始動時はロータの磁石のコイルにさしかかる位置（図２-Ｂ）、クランク角では圧縮開始時の約90度手前からプロペラを素早くフリップしてください。

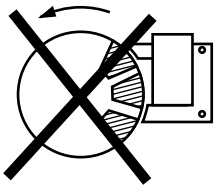


図２-Ａ

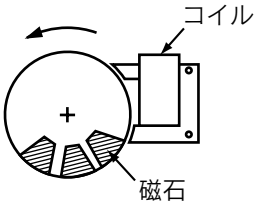


図２-Ｂ

●エンジンのかけかた

1. 燃料タンクに燃料を入れてください。
2. キャブレタをチョークし、キャブレタに燃料が現れるまでプロペラを繰り返し回してください。

3. スロットルバルブをアイドリング位置またはわずかに開いた位置にセットしてください。
4. プロペラを（図２-B）の位置からエンジンに向かって反時計回りに素早くフリップしてください。数回繰り返すと初爆音がします。
5. 初爆音がしたらチョークを開いてください。
6. スロットルはアイドリングからわずかに開いた位置にしてください。
7. プロペラを（図２-B）の位置からエンジンに向かって反時計回りに素早くフリップしてください。エンジンが始動します。

注　意

- **エンジン始動時プロペラの推力によって飛行機が動かないように固定してください。**
- **ハンドフリップ始動する場合は、厚手の手袋を着用してください。**
- **ハンドフリップ始動は、親指を除く全ての指をプロペラにかけてください。**

B．電動スタータ始動

- スピナーにゆるみ等異常がないことを確認してください。
- エンジン始動時プロペラの推力によって飛行機が動かないように固定してください。
- 電動スタータのバッテリを確認してください。

●エンジンのかけかた

1. 燃料タンクに燃料を入れてください。
2. キャブレタをチョークしてください。
3. スロットルバルブをアイドリング位置またはわずかに開いた位置にセットしてください。（その際に、決して1/4スロットル以上開けないでください。）
4. 初爆音がするまで電動スタータでエンジンを回してください。
5. チョークを開いてください。
6. スロットルバルブをアイドリング位置またはわずかに開いた位置にセットしてください。（その際に、決して1/4スロットル以上開けないでください。）
7. エンジンがスタートするまで電動スタータでエンジンを回してください。

注　意

- **チョークを閉じて電動スタータでエンジンを回しすぎるとエンジンがかかりにくくなることがあります。その場合、スパークプラグを取り外して電極を乾かしチョーク開、スロットル全開でプロペラを数回回してからスパークプラグを元通りに取付けエンジンを始動してください。**
- **※エンジン始動時以外は、運転スイッチをOFFにしてください。**
- **エンジンが暖まっている状態の場合は、チョークをする必要はありません。**

6.2 G260PUM, G231PUM（ボート用）、G260PUH, G231PUH（ヘリ用）

1. 燃料タンクに燃料を入れてください。
2. キャブレタ上部の始動ポンプを、内部に燃料が現れるまで繰り返し指で押してください。
3. キャブレタをチョークし、スロットルバルブを全開の約1/4～1/3にセットしてください。
4. エアクリーナの「ロックノブ」をロック位置にしてください。(G260PUH/G231PUH)

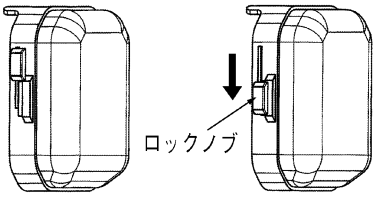


図3　開位置　ロック位置

5. スタータロープを素早く引いてください。
6. エンジンに初爆があったら、チョークを開き、スロットルバルブをアイドリング位置またはわずかに開いた位置に戻してから再びスタータロープを引いてください。数回繰り返す間にエンジンが始動します。

【注意】

- 初爆があったら直ちにチョークを開いてください。
- チョークが開いている時は、次の始動操作をする前に必ずスロットルバルブをアイドリング付近の位置まで戻してください。

7. 停　止

エンジンの停め方

エンジンは、コイルから出している黒いリード線をエンジンボディにアースさせるか、スロットルバルブを完全に閉じることにより停止します。

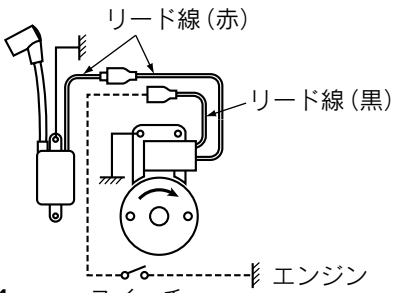


図4

8．キャブレタの調整

キャブレタには３つの調整スクリュがあり、工場で調整後出荷されています。通常は再調整の必要はありませんが、気温や気圧（高度）など運転環境の変化によりエンジンの調子が思わしくない場合は次の点に留意して再調整してください。

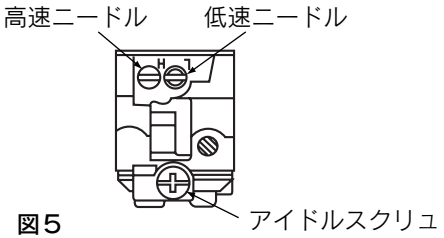


図５

ニードル戻し開度基準値

	H	L
G260PU	1 3/8 ± 1/4	1 3/8 ± 1/4
G260PUM/G231PUM	1 5/8 ± 1/4	1 ± 1/4
G260PUH/G231PUH	1 7/8 ± 1/4	1 1/4 ± 1/4

アイドルスクリュ：

このスクリュを時計回りに回すとアイドリング回転数が上がり、反時計回りに回すとアイドリング回転数が下がります。

低速ニードル：

低中速域の燃料供給量を加減するものです（エアスクリュではありません）。時計回りに回すと混合気が希薄になり、反時計回りに回すと混合気が濃くなります。

高速ニードル：

高速域の燃料供給量を加減するものです。時計回りに回すと混合気が希薄になり、反時計回りに回すと混合気が濃くなります。調整時は、エンジン回転数が最高になる位置から、1/8～1/4回転開いた位置にセットしてください。

注　意

1. 低速・高速ニードルは強く締め過ぎないでください。

2. 始動後エンジンが完全に暖まらない間は、加速が悪かったり、エンストすることがあります。本格運転に入る前に低速で十分に暖機運転してください。

９．ブレークイン

ブレークインについて

・このエンジンは特別なブレークインの必要はありません。運転時間の経過と共に徐々になじみがつき、出力も増加します。
・エンジンの搭載後、ラジオコントロール製品としての調子を見るために、低速でタンク1/3、中～高速でタンク2/3運転されることを推奨します。

１０．運　転

・ラジオコントロール製品の取扱は、メーカーより支給される取扱説明書に従ってください。
・エンジンのハイパフォーマンスを保つために本要領書に従ってしっかり整備してください。

１１．整　備

1）チェックシート

項　目	対　応	使用前	25時間毎	100時間毎	備　考
漏れ／ダメージ／亀裂	チェック	✔	✔	✔	
アイドル回転数	チェック／調整	✔	✔	✔	
エアクリーナ（PUHのみ）	チェック／清掃	✔	✔	✔	必要に応じて、交換
スパークプラグ（ギャップ）	チェック／調整		✔	✔	↑
シリンダ（バレル）	チェック／清掃		✔	✔	↑
ピストン、リング	チェック／清掃		✔	✔	↑
マフラ／ボルト	チェック／清掃	✔	✔	✔	↑
ベアリング	チェック／清掃		✔	✔	↑
クランクシャフト	チェック／調整			✔	↑
ロータ	チェック		✔	✔	↑
プロペラバブ(PUのみ)	チェック／調整		✔	✔	↑
ウォータージャケット(PUMのみ)	チェック	✔	✔	✔	↑

2）諸元・性能

機種形式	単　位	G260PU	G260PUM	G260PUH	G231PUM	G231PUH
冷却方式	–	空冷	水冷	空冷	水冷	空冷
内径 x 行程	mm	34x28	←	←	32x28	←
排気量	cm^3	25.4	←	←	22.5	←
圧縮比	–	8.4	←	←	←	←
キャブレタ	形式 (ワルブロ)	WT-645	WT-644	WT-643	WT-644	WT-643
	ベンチュリ径 (mm)	ø12.7	←	←	←	←
エアクリーナ		–	–	乾式	–	乾式
始動方式	–	電動スタータ または ハンドフリップ	リコイルスタータ	←	←	←
点火方式	形式	C.D.I.	←	←	←	←
	BTDC°/rpm	28/7000	30/7000	←	←	←
スパークプラグ	標準	Champion RZ7C	←	←	←	←
	オプション	–	NGK CMR6H/7H	–	NGK CMR6H/7H	–
アイドル回転数	rpm	1800 APC 18x8	3500	3000	3500	3000
最大出力	kW/rpm	1.62/12000	2.16/12000	1.71/13000	2.09/12000	1.58/13000
最大トルク	N·m/rpm	1.48/9000	1.94/9500	1.42/9500	1.79/10000	1.34/9000
燃費率	g/kW·H	790	710	760	720	700
乾燥重量	kg	1.69 (※1.52)	1.54	1.77 (※1.57)	1.55	1.78 (※1.58)

(※): 標準マフラ脱着時　　仕様諸元は予告なく変更されることがあります。

3）整備規格

項　目		G260PU/PUM/PUH		G231PUM/PUH		測定装置	備考
		基準値	限界値	基準値	限界値		
シリンダ	内径 (mm)	ø34	メッキ破損	ø32	メッキ破損	目視	
ピストン	外径 (mm)	ø33.97	ø33.87	ø31.97	ø31.87	マイクロメータ	ピストンスカート部
	ピストンリング溝幅 (mm)	1.01	1.11	1.01	1.11	シックネスゲージ	
	ピストンピンホール径 (mm)	ø8.01	ø8.05	ø8.01	ø8.05	シリンダゲージ	
	クリアランス (ピストン～ シリンダ) (mm)	0.03～0.06	0.15	0.03～0.06	0.15	マイクロメータ シリンダゲージ	
	クリアランス (ピストンリング～ ピストンリング溝) (mm)	0.02～0.04	0.1	0.02～0.04	0.1	シリンダゲージ	
ピストンリング	合い口隙間 (mm)	0.05～0.25	0.5	0.05～0.25	0.5	シックネスゲージ	新品シリンダ 取り付け時
	幅 (mm)	0.98	0.93	0.98	0.93	マイクロメータ	
ピストンピン径 (mm)		ø8	ø7.98	ø8	ø7.98	マイクロメータ	
コンロッド小端径 (mm)		ø11	ø11.05	ø11	ø11.05	シリンダゲージ	
クランクシャフトメインベアリング径 (mm)		ø12	ø11.98	ø12	ø11.98	マイクロメータ	
	振れ (mm)	–	0.07	–	0.07	ダイヤルゲージ	
	軸方向の遊び (mm)	–	0.5	–	0.5	シックネスゲージ	
	メインベアリング	–	ゴツゴツ感	–	ゴツゴツ感	–	

4）キャブレタ

項　目	単位	基準値	測定装置
メタリングレバーセット	mm	1.65 ± 0.16	ノギス
インレットバルブオープン圧力	MPa	0.13～0.23	圧力計
	kg/cm²	1.3～2.3	
インレットバルブクローズ圧力	MPa	0.07～0.17	圧力計
	kg/cm²	0.7～1.7	

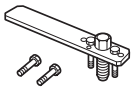
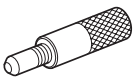
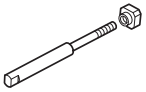
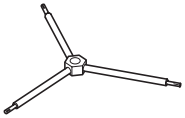
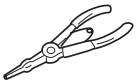
5）イグニッションシステム

項　目			基準値	限界値	測定装置	備　考
スパークプラグエアギャップ (mm)			0.6～0.7	0.7	シックネスゲージ	
エアギャップ (ソースコイル～ロータ) (mm)			0.3	0.4	シックネスゲージ	
コイル抵抗値 (Ω)	SO コイル	1160-71211	∞ / 185Ω	–	テスター	コイルコア～リード線 (赤) ／ コイルコア～リード線 (黒)
		2629-71210	∞ / 255Ω	–		
	IG コイル	2629-71311	2.1kΩ	–	テスター	スパークプラグコード～リード線 (赤)
			0.1 Ω	–		リード線 (赤) ～アース端子
			2.1 kΩ	–		スパークプラグコード～アース端子

6）トルク

品　名	スクリュサイズ	基　準		許　容		備　考
		N·m	kg·cm	N·m	kg·cm	
キャブレタ	M5 (P=0.8)	3.4	35	2.9～3.9	30～40	
インシュレータ	M5 (P=0.8)	4.4	45	3.9～4.9	40～50	
ロータ	M8 (P=1.0)	12.7	130	9.8～14.7	100～150	
シリンダ	M5 (P=0.8)	6.9	70	4.9～8.8	50～90	
クランクケース	M5 (P=0.8)	5.9	60	4.9～6.9	50～70	
スパークプラグ	M10 (P=1.0)	10.8	110	8.8～12.8	90～130	
マフラ	M5 (P=0.8)	8.8	90	6.9～9.8	70～100	
IGコイル	M4 (P=0.7)	1.8	18	1.5～2.0	15～20	
SO コイル	M4 (P=0.7)	1.8	18	1.5～2.0	15～20	
リコイルスタータ	M4 (P=0.7)	1.8	18	1.5～2.0	15～20	
スタッド (ハブ)	M6 (P=1.0)	9.8	100	7.8～11.8	80～120	ロックタイト
ナット、プロペラ	M8 (P=1.25)	9.8	100	7.8～11.8	80～120	
ウオータージャケット	M3 (P=0.5)	1.5	15	1.0～2.0	10～20	
マウントプレート	M5 (P=0.8)	3.9	40	3.4～4.4	35～45	

１２．スペシャルツール

	品　名	品　番	外　観	用　途
1	プーラアセンブリ	1490-96101		ロータ取り外し用
2	ピストンストッパ	4810-96220		ロータ、ハブの組立て及び取り外し時にクランクシャフトが回らないように固定する
3	ロッドアセンブリ	1101-96220		ピストンピン取り外し用
4	６角レンチ	3304-97611		M4, M5, M6
5	スナップリング プライヤ	5500-96110		スナップリング取り外し用

１３．サービスガイド

図６

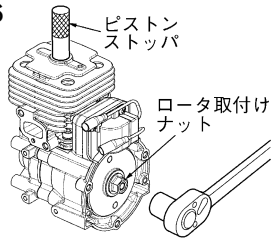
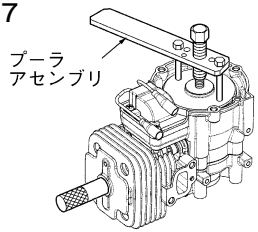


図７

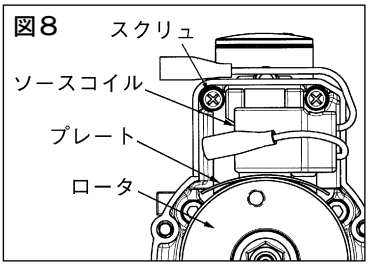


13.1 ロータの取り外し手順

1）ストッパ（品番4810-96220）をスパークプラグの代わりにシリンダにねじ込み、ロータを反時計回りに回してピストンをスットパに静かに当てる。スットパのねじ込みが不十分だとピストンやコンロッドが損傷することがあるので注意すること。

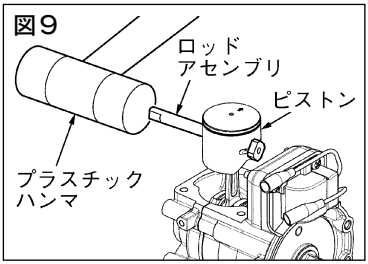
2）ロータ取り付けナットをゆるめて取り外す。（図６）

3）プーラ（品番1490-96101）を使ってロータを取り外す。心振れがひどくなるのでクランクシャフトの端はハンマでたたかないこと。（図７）



13.2 ロータ、ソースコイルの組み立て手順

1）ロータをクランクシャフトに取り付ける（キー位置注意）
2）ストッパ（品番4810-96220）をスパークプラグの代わりにシリンダにねじ込み、ロータを時計回りに回してピストンをストッパに静かに当てる。ストッパのねじ込みが不十分だとピストンやコンロッドが損傷することがあるので注意すること。
3）ロータ取付けナットを取り付ける。
4）ソースコイルを取付けスクリュにて仮締めする。
5）ロータのマグネット部とソースコイルの間に0.3mmのプレートを入れる。
6）ソースコイルをロータ側へ押し付けながらスクリュにて締め付ける。
7）プレートを取り除き、シックネスゲージにてエアギャップ（0.3～0.4mm）を確認する。

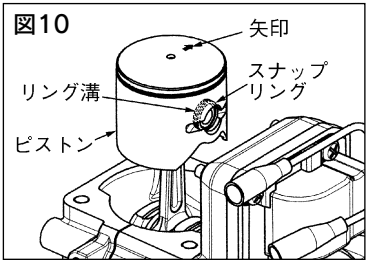


13.3 ピストンピンの取り外し手順

1）ピストンの両側からスナップリングを取り外す。
2）ピストンをしっかりと固定しロッドアッセンブリをピストンピンに差し込みプラスチックハンマで軽くたたく。

注　意

強くたたくとコンロッド大端側にダメージを与える可能性があります。



13.4 ピストンの組み立て手順

1）ピストン頭部の矢印の向きが排気側にくるようにする。
2）両端スキマが下になるようにスナップリングを取り付ける。

注　意

使用済みまたは変形したスナップリングは運転中に外れエンジンにダメージを与える可能性があります。

１４．トラブルシューティング

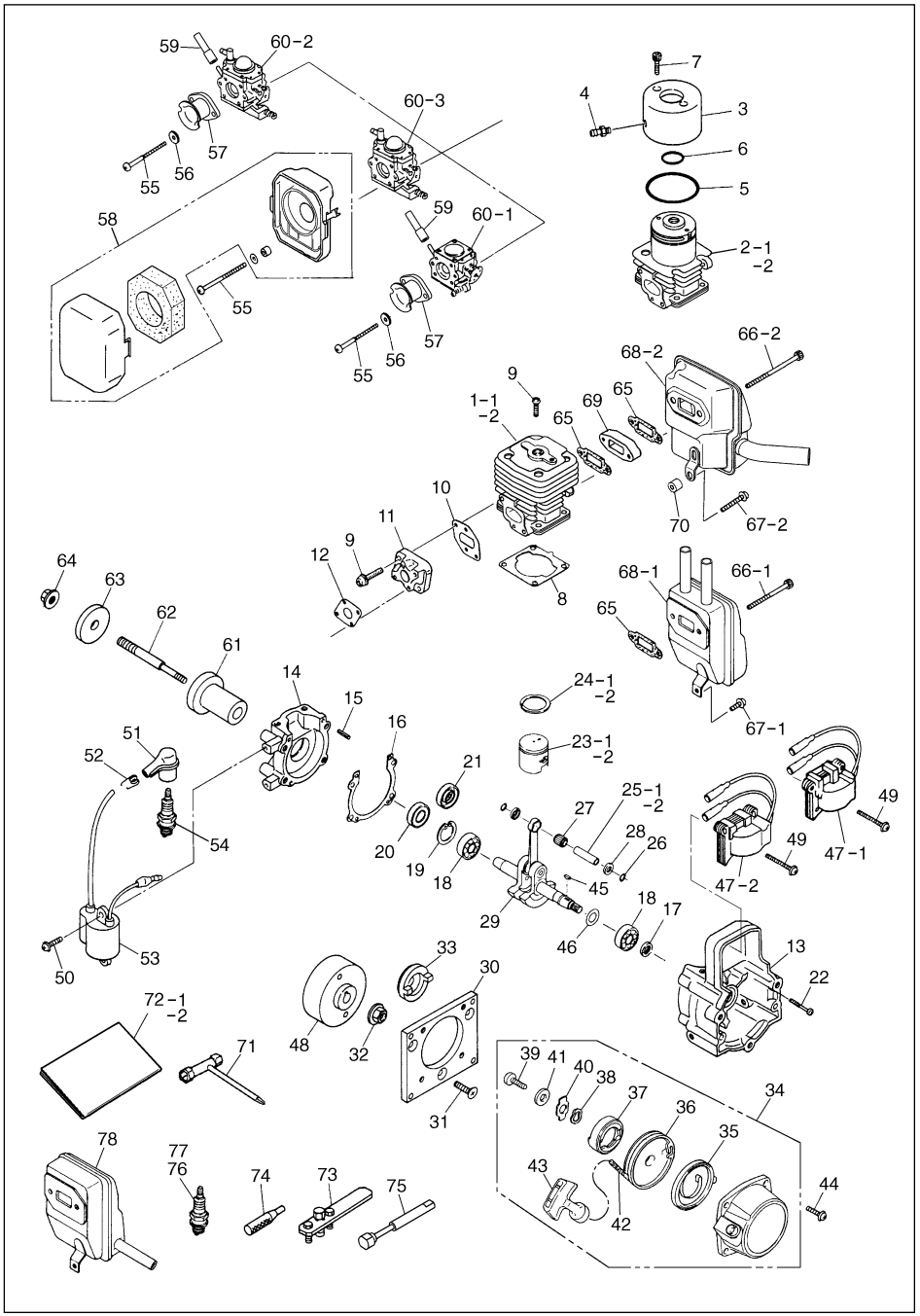
１）エンジンが始動しない

内　容	原　因	対　策
スパークプラグが点火しない		
スパーグプラグ	1. 電極かぶり	電極を乾燥
	2. 電極にカーボン堆積	清掃
	3. 絶縁不良	交換
	4. ギャップ異常	調整（0.6から~0.7mm）
	5. 電極破損	交換
マグネット	1. コイル不良	交換
	2. 配線破損または断線	交換／修理
スイッチ	1. スイッチOFF	スイッチON
	2. スイッチ不良	交換
	3.断線	修理
スパークプラグは点火する		
圧縮及び	1.燃料の吸い込みすぎ	余剰燃料の排出
燃料供給は正常	2. 燃料が濃い	キャブレタ調整
	3.オーバーフロー	キャブレタ調整／交換
	4. エアクリーナー目詰り	混合ガソリンで清掃
	5. 燃料不良	燃料交換
燃料供給は正常	1. シリンダ、ピストン、ピストンリングの摩耗	交換
圧縮不良	2. シリンダ、クランクケース、ガスケット部より混合気の漏れ	液状ガスケットを使用する／再組立（ガスケット交換）
燃料が供給されない	1.ブリーザ目詰り	清掃
	2. キャブレタ目詰り	清掃
	3.燃料フィルタ目詰り	燃料フィルタ交換

２）出力不足／不安定

内　容	原　因	対　策
圧宿は正常で失火しない	1. 燃料系統への空気の侵入	燃料系統の確認
	2. 吸気系統ジョイント部への空気の侵入	ガスケット交換／スクリュ締め付け
	3. 燃料不良	燃料交換
	4. ピストンかじり	目の細いサンドペーパーで磨く
	5. マフラ目詰り	清掃
オーバーヒート	1. 燃料が薄い	キャブレタ調整
	2. シリンダフィンの目詰り	清掃
	3. 燃料不良	燃料交換
	4. 燃料室のカーボン堆積	清掃
	5. 電極への不純物堆積	清掃、ギャップ調整（0.6~0.7mm）
その他	1. エアクリーナ目詰り	混合ガソリンで清掃
	2. オーバーロード	負荷を減らす

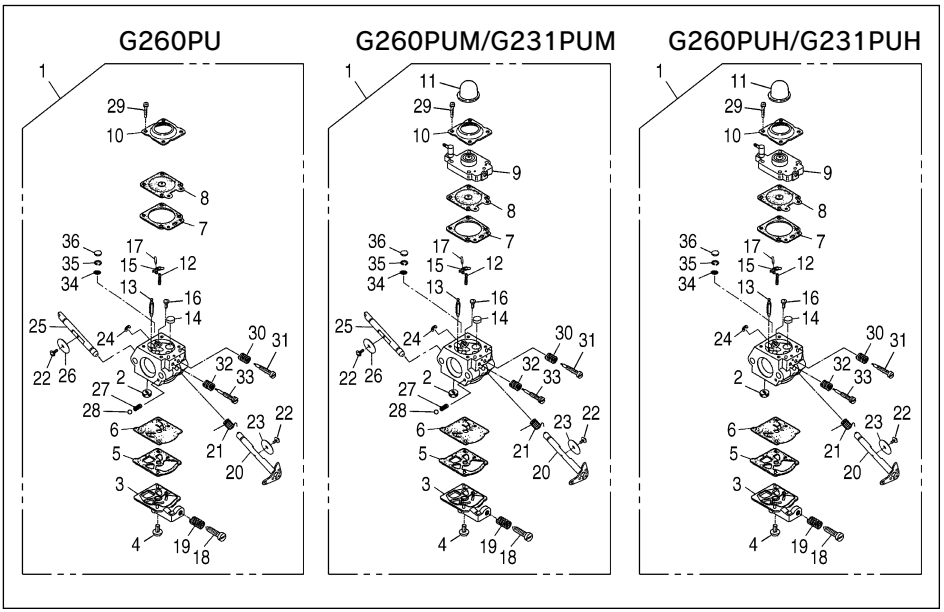
15. パーツリスト


59
60-2
60-3
57
55
56
58
59
60-1
55
57
55
56
7
4
3
6
5
2-1
-2
66-2
68-2
9
1-1
-2
65
69
65
10
11
12
9
8
70
67-2
64
63
62
61
14
15
68-1
66-1
65
67-1
24-1
-2
23-1
-2
16
21
20
19
18
25-1
-2
27
28
26
45
29
46
18
17
51
52
54
53
50
49
47-1
49
47-2
13
22
33
30
48
32
31
72-1
-2
71
39
41
40
38
37
36
35
34
43
42
44
78
77
76
74
73
75

番号	品番	品名	個数／台					備考
			G260PU	G260PUM	G260PUH	G231PUM	G231PUH	
1-1	T2075-12110	シリンダ	1	–	1	–	–	
1-2	T2077-12110	シリンダ	–	–	–	–	1	
2-1	T2076-12110	シリンダ	–	1	–	–	–	
2-2	T2078-12110	シリンダ	–	–	–	1	–	
3	T2076-12210	ジャケット	–	1	–	1	–	
4	07851-00515	ジョイント	–	2	–	2	–	
5	07000-13040	Oリング 3x40	–	1	–	1	–	
6	T2076-12320	Oリング 1.5x15.5	–	1	–	1	–	
7	1160-12330	ボルト M3x8	–	2	–	2	–	
8	T2075-13120	ガスケット シリンダ	1	1	1	1	1	
9	3310-12281	ボルト M5x20	6	6	6	6	6	
10	T2075-13150	ガスケット インシュレータ	1	1	1	1	1	
11	1148-13162	インシュレータ	1	1	1	1	1	
12	T2075-14120	ガスケット キャブレタ	1	1	2	1	2	
	T2075-21100	クランクケース コンプリート	1	1	1	1	1	
13	–	クランクケース リヤ	1	1	1	1	1	
14	–	クランクケース フロント	1	1	1	1	1	
15	2629-21130	ピン	3	3	3	3	3	
16	T2075-21140	ガスケット	1	1	1	1	1	
17	2169-21210	シール 12x22x7	1	1	1	1	1	
18	1155-21240	ベアリング	2	2	2	2	2	
19	04065-02812	スナップリング	1	1	1	1	1	
20	06034-06001	ベアリング	1	–	1	–	1	
21	1850-21220	シール 12x28x7	–	1	–	1	–	
22	01252-30530	ボルト M5x30	4	4	4	4	4	
23-1	T2088-41110	ピストン	1	1	1	–	–	
23-2	T2070-41110	ピストン	–	–	–	1	1	
24-1	T2088-41210	リング	1	1	1	–	–	
24-2	T2070-41210	リング	–	–	–	1	1	
25-1	1600-41310	ピストンピン	1	1	1	–	–	
25-2	1101-41310	ピストンピン	–	–	–	1	1	
26	1260-41320	スナップリング	2	2	2	2	2	
27	5500-41410	ベアリング	1	1	1	1	1	
28	1101-41340	ワッシャ	2	2	2	2	2	
29	T2075-42000	クランクシャフトコンプリート	1	1	1	1	1	
30	1155-74110	マウントプレート	1	1	1	1	1	
31	0262-10516	スクリュ M5x16	3	3	3	3	3	
32	1650-43230	ナット M8	1	–	–	–	–	
33	1160-75210	プーリ	–	1	1	1	1	
34	1861-75101	リコイル アセンブリ	–	1	1	1	1	
35	1861-75120	• スプリング	–	1	1	1	1	
36	5990-75131	• リール	–	1	1	1	1	
37	5990-75141	• ラチェット	–	1	1	1	1	
38	1861-75150	• ワッシャ	–	1	1	1	1	
39	1483-75270	• スクリュ	–	1	1	1	1	
40	1487-75160	• リテーナ	–	1	1	1	1	
41	1487-75170	• ワッシャ	–	1	1	1	1	
42	1861-75180	• ロープ	–	1	1	1	1	
43	1490-75181	• ノブ	–	1	1	1	1	
44	0263-30414	スクリュ M4x14	–	4	4	4	4	
45	1000-43240	キー	1	1	1	1	1	
46	1140-43250	シム	0~3	0~3	0~3	0~3	0~3	
47-1	2629-71210	コイルSO (グレー)	1	–	–	–	–	
47-2	1160-71211	コイルSO (レッド)	–	1	1	1	1	
48	1155-71110	ロータ	1	1	1	1	1	
49	0260-30422	スクリュ M4x22	2	2	2	2	2	
50	0263-30414	スクリュ M4x14	2	2	2	2	2	
51	T2075-72210	プラグキャップ	1	1	1	1	1	
52	1400-72121	スプリング	1	1	1	1	1	
53	2629-71311	コイル	1	1	1	1	1	
54	3699-91809	スーパクプラグ RZ7C	1	1	1	1	1	
55	0263-30555	スクリュ M5x55	2	2	2	2	2	

番号	品番	品名	個数／台					備考
			G260PU	G260PUM	G260PUH	G231PUM	G231PUH	
56	1142-83110	スペーサ 5x10x1.6	2	2	–	2	–	
57	848-ES0-8300	ファンネル	1	1	–	1	–	
58	848-EP1-8300	クリーナアセンブリ	–	–	1	–	1	
59	1000-03030	チューブ	1	1	–	1	–	
60-1	T2075-81000	キャブレタアセンブリ WT-645	1	–	–	–	–	
60-2	T2076-81000	キャブレタアセンブリ WT-644	–	1	–	1	–	
60-3	T2077-81000	キャブレタアセンブリ WT-643	–	–	1	–	1	
61	1152-43260	ハブ	1	–	–	–	–	
62	1152-43281	スタッド	1	–	–	–	–	
63	1152-43290	ワッシャ	1	–	–	–	–	
64	3350-53410	ナット M8	1	–	–	–	–	
65	1140-13141	ガスケットマフラ	1	–	2	–	2	
66-1	01252-30550	ボルト M5x50	2	–	–	–	–	
66-2	01252-30560	ボルト M5x60	–	–	2	–	2	
67-1	0263-30408	スクリュ M4x8	1	–	–	–	–	
67-2	1565-72211	ボルト M4x16	–	–	1	–	1	
68-1	T2075-15110	マフラ	1	–	–	–	–	
68-2	T2710-15110	マフラ	–	–	1	–	1	
69	1145-15412	スペーサ	–	–	1	–	1	
70	1158-15420	スペーサ	–	–	1	–	1	
71	T3039-91310	ソケット	1	1	1	1	1	
72-1	T2075-93112	マニュアル英文	1	1	1	1	1	
72-2	T2075-93122	マニュアル和文	–	–	1	–	1	
73	1490-96101	ブーラアセンブリ	1	1	1	1	1	オプション
74	4810-96220	ストッパ	1	1	1	1	1	オプション
75	1101-96220	ロッドアセンブリ	1	1	1	1	1	オプション
76	3699-91975	スパークプラグ CMR6H	–	1	–	1	–	オプション (G260PUM/G231PUMのみ)
77	3699-91867	スパークプラグ CMR7H	–	1	–	1	–	
78	1148-08010	マフラ	1	1	1	1	1	オプション

CARBURETOR INNER PARTS



番号	品番	品名	個数/台
G260PU			
1	T2075-81000	キャブレタアセンブリ	1
2	3306-81380	・スクリーン	1
3	3080-81120	・カバー	1
4	3310-81130	・スクリュ	1
5	3304-81140	・ガスケット	1
6	1172-81150	・ダイヤフラム	1
7	2850-81290	・ガスケット	1
8	3310-81260	・ダイヤフラム	1
10	3310-81280	メタリングカバー	1
12	2867-81270	・スプリング	1
13	3356-81310	・インレットバルブ	1
14	1480-81420	・ウエルチプラグ	1
15	3310-81230	・レバー	1
16	3310-81240	・スクリュ	1
17	3310-81250	・ピン	1
18	2630-81330	・スクリュ	1
19	3350-81380	・スプリング	1
20	1172-81370	・スロットルシャフト	1
21	2670-81410	・スプリング	1
22	2880-81470	・スクリュ	2
23	3310-81340	・スロットルバルブ	1
24	1148-81390	・リング	1
25	T2070-81460	・チョークシャフト	1
26	T2075-81450	・チョークバルブ	1
27	3350-81350	・スプリング	1
28	3350-81220	・ボール	1
29	3310-81351	・スクリュ	4
30	1491-81160	・スプリング	1
31	1148-81171	・Lニードル	1
32	3080-81320	・スプリング	1
33	T2070-81330	・Hニードル	1
34	3304-81450	・スクリーン	1
35	3304-81441	・リング	1
36	3360-81440	・プラグ	1
G260PUM/G231PUM			
1	T2076-81000	キャブレタアセンブリ	1
2	3306-81380	・スクリーン	1
3	3080-81120	・カバー	1
4	3310-81130	・スクリュ	1
5	3304-81140	・ガスケット	1
6	1172-81150	・ダイヤフラム	1
7	1751-81470	・ガスケット	1
8	3310-81260	・ダイヤフラム	1
9	T2070-81210	・ボデーアセンブリ	1
10	1751-81520	・カバー	1
11	1751-81510	・ポンプ	1
12	2867-81270	・スプリング	1
13	3356-81310	・インレットバルブ	1
14	1480-81420	・ウエルチプラグ	1
15	3310-81230	・レバー	1
16	3310-81240	・スクリュ	1
17	3310-81250	・ピン	1
18	2630-81330	・スクリュ	1
19	3350-81380	・スプリング	1
20	1172-81370	・スロットルシャフト	1
21	2670-81410	・スプリング	1
22	2880-81470	・スクリュ	2
23	3310-81340	・スロットルバルブ	1
24	1148-81390	・リング	1
25	T2070-81460	・チョークシャフト	1
26	T2075-81450	・チョークバルブ	1
27	3350-81350	・スプリング	1
28	3350-81220	・ボール	1
29	1148-81530	・スクリュ	4
30	1491-81160	・スプリング	1
31	1148-81171	・Lニードル	1
32	3080-81320	・スプリング	1
33	T2070-81330	・Hニードル	1
34	3304-81450	・スクリーン	1
35	3304-81441	・リング	1
36	3360-81440	・プラグ	1
G260PUH/G231PUH			
1	T2077-81000	キャブレタアセンブリ	1
2	3306-81380	・スクリーン	1
3	3080-81120	・カバー	1
4	3310-81130	・スクリュ	1
5	3304-81140	・ガスケット	1
6	1172-81150	・ダイヤフラム	1
7	1751-81470	・ガスケット	1
8	3310-81260	・ダイヤフラム	1
9	T2070-81210	・ボデーアセンブリ	1
10	1751-81520	・カバー	1
11	1751-81510	・ポンプ	1
12	2867-81270	・スプリング	1
13	3356-81310	・インレットバルブ	1
14	1480-81420	・ウエルチプラグ	1
15	3310-81230	・レバー	1
16	3310-81240	・スクリュ	1
17	3310-81250	・ピン	1
18	2630-81330	・スクリュ	1
19	3350-81380	・スプリング	1
20	1172-81370	・スロットルシャフト	1
21	2670-81410	・スプリング	1
22	2880-81470	・スクリュ	1
23	3310-81340	・スロットルバルブ	1
24	1148-81390	・リング	1
29	1148-81530	・スクリュ	4
30	1491-81160	・スプリング	1
31	1148-81171	・Lニードル	1
32	3080-81320	・スプリング	1
33	T2070-81330	・Hニードル	1
34	3304-81450	・スクリーン	1
35	3304-81441	・リング	1
36	3360-81440	・プラグ	1

16. 保　証

1．適用範囲
・販売店を経由または直接販売された弊社のエンジンに適用されます。
2．保証の範囲
・本要領書に記載された仕様
・材質または製造欠陥
3．補償の範囲
・修理または交換
4．保証の有効期間
・ユーザーお買い上げ日から満3ヶ月以内でかつ生産月から12ヶ月以内となります。
5．保証除外事項
次のいずれかの場合は保証修理または損失補填の責を負いかねますのであらかじめご了承ください。
・取扱整備要領書の注意事項に従わなかったり、日常点検整備を怠った結果生じた故障
・弊社の認めない改造およびそれらに起因する故障
・お買い上げ店または弊社特約店以外での修理およびそれらに起因する故障
・商品分解状態でのお持ち込み
・純正部品または指定品以外の使用に起因する故障
・商品の機能に影響しない音、振動、オイルのにじみなどの感覚的現象
・使用損耗および経時変化による外観の劣化（褪色、発錆、打痕、擦過キズなど）
・自然災害または事故、過失、不注意による損傷
・消耗部品および油脂類（スパークプラグ、パッキン、ガスケット、エアクリーナエレメント、燃料フィルタ、ゴム部品、燃料、エンジンオイル、グリースおよびこれらに類するもの）
・修理品運搬などの付随的費用および商品を使用できなかったことによる損失（休業経費、代替資材費、役務経費等）
・商品が日本国外で使用される場合（This warranty is valid in Japan only.）

この製品の補修用部品の供給年限は製造打切後8年です。
・ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。
・補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

ZENOAH
株式会社 ゼノア
本社：〒350-1165　埼玉県川越市南台 1-9
サービスG：☎(049) 243-1110